

# 松江一中だより

令和5年12月号  
文責 校長 池田 浩

令和五年も終わろうとしています。保護者の皆様方には、本校教育についてご理解とご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。とりわけ十二月には三者面談を計画しましたところ、お忙しい中ご都合をつけ来校いただき、ありがとうございました。

生徒は、コロナ禍が安定してから、ずいぶん級友との関係性を広め、深めてきたように思います。よく言えば行動的、活動的、別の見方をするとはしゃぎすぎ、騒々しいといったところでしょうか。中学生という多感な時期に思い切り自己を表現することができるとはとても大切に幸せなことです。ぜひ、ウィズコロナ時代に、行き過ぎた行動で自己や他者を傷つけることなく思春期を全うし、社会に貢献できる立派な大人になって欲しいと願っています。新年には、皆が元気に始業式を迎えられることを楽しみにしています。

## 三学期から一部の生活時程を変更します

令和五年度四月から、学校の生活時程を変更して朝礼の時間と朝読書の時間を合わせて十五分設けることにしました。終礼の終わりを早くし、部活動を余裕をもって始めるために変更しました。

しかし、職員朝礼や学級朝礼の時間が長くなることがあるため、朝読書の時間が少なくなったり、取れなかったりする学級が一学期、二学期とあったようです。

生徒の読書時間が少なくなるのではないかと四月当初から心配し、校長室に相談に来る生徒もいました。

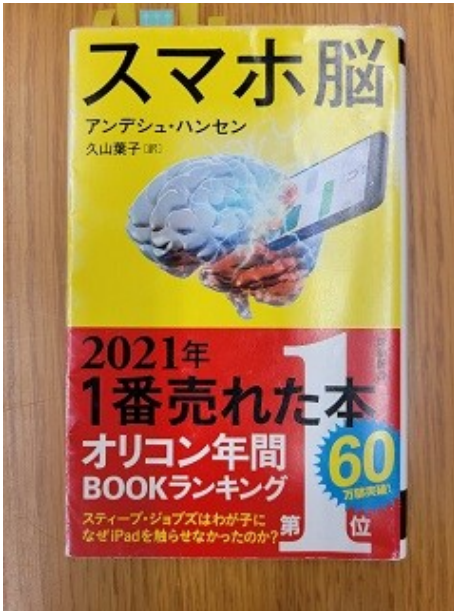
私自身も、昨年あれだけ読書をしていたのに、きっかけを失ったせいか、本に触れる時間が圧倒的に少なくなっていました。また、活字を捉えられず、うまく本を読めなくなっていました。その代わりに手にしていたのはスマホやタブレットです。

スマホ脳についてはスマホ、ゲーム脳についてはゲームに依存してしまうことが知られています。運動や読書によって回避できることも知られています。

わずか十分の読書で生活が大きく変わるとは考えにくいですが、読書に没頭する時間の確保のきっかけにしたい。三学期から、朝読書の時間を十分間設けることにしました。したがって、三学期から一校時は九時スタートになります。

生徒の皆さん、三学期から朝読(アサドク)で脳をすっきりさせて、一日の生活に臨むことにしましょう。

【三学期からの生活時程】  
8:30～学級朝礼 8:40～朝読書  
9:00～一校時



## 校内合唱コンクール

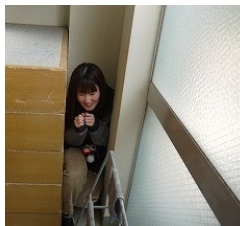
十月三十一日(火)に県民会館を会場に校内合唱コンクールを行いました。二学期の学校行事のフィナーレと言ってもよいかもしれません。

今年度の合唱コンクールのスローガンは「歌超(うたごえ)〜びびけいまままでをこえて〜」でした。「いままで」とは多くの一中生や保護者、地域の皆様、職員の気持ちを生徒会が代弁してくれたものと思います。久しぶりに全校が集まり、少しざわつきが気になりましたが、三年生の貫禄の合唱に会場も引き締まりました。詳しくはホームページ(行事・生徒会)をご覧ください。



## 全校でかくれんぼ！

十二月六日(水)に、前期生徒会が突然のサプライズイベント「全校かくれんぼ」を行いました。危険の無いルールを決めて、隠れている六人の先生方を探します。見つけた生徒は「お昼の放送時に好きな曲をかけてもらえる権利」を得ることができます。全校生徒が参加する必要はないと前置きがありましたが多くの生徒が参加しました。生徒の発想はとても柔軟で時に驚くような内容の提案がありますが、できることはできるだけ一緒に活動し、できないことは「できない」として共に考える姿勢でいたいものです。十二月二十二日(金)には二年生を中心とした後期生徒会の約生任命式を行いました。(新役員については追って紹介します。)



勢でいたいものです。十二月二十二日(金)には二年生を中心とした後期生徒会の約生任命式を行いました。(新役員については追って紹介します。)





12/19~21 ｽﾏｲﾃﾞｭｰ教育講演会



11/29 2年生車いす体験



11/24 芸術鑑賞



学びの秋&芸術の秋:

二期後半は、文化的な行事・学年単位や全校での研修が続きました。忙しくはありませんでしたが、外部の方の指導を受け、学びが深まり、生徒も成長を遂げたと思います。それぞれの行事についてホームページでお知らせしておりますが、一部の行事を写真で紹介いたします。

第二回学校運営協議会

十一月十三日、第二回学校運営協議会を開催しました。多様化する学校の課題を、地域と連携・協働しながら改善し、一緒に考え、実行するための組織で、松江市では各学校で年三回開催しています。保護者や地域の代表の委員さんに、学校の状況を知ってもらうことを目的として設置された令和三年度から、一中では会議に中学生の代表も参加して、話し合う機会を設けています。

今回前半は、昨年度に引き続き、「活力ある元気な学校を作るために」自分たちの考えが生かされる松江一中。パート2というテーマで話し合いました。「交通マナー」に絞って話し合った中で、自転車や歩行者、自動車の運転者等、それぞれ異なる視点で活動していることを知りました。また、悪いことだけでなく良いことも伝え合うなど、相手目線でお互い考えることが必要ということを話し合い、生徒全員で考えてみたいという意見などが出ました。(一中学生の意見から校庭西側の街灯が改善されました。)



後半は、職員の働き方の課題や、衛生委員会の報告、日ごろ感じていることなどを、今年度の新規採用教員三名と衛生管理者である養護教諭と一緒に話し合いました。和気あいあいとした中でも、悩みを語り、委員からアドバイスももらったりして、充実した話し合いとなりました。

下のQRコードから、一中のトップページを開き、それぞれの記事をご覧ください。もう少しで二百万件アクセスとなりそうですが、来年から松江市立学校のホームページがリニューアルされることになりました。新しいホームページにはアクセスカウンターは表示されないそうです。



松江一中校区子どもの健全育成研修会

十二月一七日に生馬公民館において「松江一中校区子どもの健全育成研修会」が開催されました。研修会は一中学校区の四公民館・青少年育成団体の主催で毎年開催されています。中学生の考えや声を直接聞き、学びたいということから、一中学生にも声をかけていただき二年生代表十名が参加しました。

「カードゲームで持続可能なまちづくりを体験しよう!」がテーマで、講師は本校の学校運営協議会委員でもあるスピン・デザイン代表の桐山尚子さんです。まず、「SDGsについて」クイズを交えながら講義を受け、その後、参加者全員で「SDGs de 地方創生」カードゲームを行いました。総勢五十名の参加者のほとんどが初めてで、?が飛び交っていました。



が、だんだん班内外でのコミュニケーションが活発になり、中学生も大人に混じって発言したり、積極的に交渉を行ったりしていました。結果、多くの班でミッションが達成されました。最後の振り返りでは、SDGsに対する意識の変化(環境だけでなく、経済や教育など)や、主体的に参加することの大切さに気付いたり、仲が良いとうまくいくから、街づくりも楽しくやっていきたいといった感想を交流しました。主催者からは、

\*今回は、ゲームを通して中学生と「大人」の交流がすごくスムーズに行われた。

\*今後も交流を進めたい。

\*地域行事も中学生の発案を取り入れてできると実感した、というまとめの言葉をいただきました。将来の地域を担う人材として、中学生の力が躍動した半日となりました。

